

## ひょうご産官学連携協議会『2023 年度活動報告会』報告書

【開催概要】 ひょうご産官学連携協議会の概要と事業活動報告、およびリカレント教育に関する意見交換会

主 催：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

日 時：2024 年 3 月 12 日（火）13：30－14：15

方 法：オンライン（Zoom）

目 的：ひょうご産官学連携協議会の活動を広く地域の団体や、地域住民に周知し、地域社会からの理解を得ることで、今後地域社会と一体となった取り組みを拡大するきっかけとする。

### 【次第】

|   | 内容                 | 担当                                                                                 | 時間   |
|---|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1 | 開会<br>次第および協議会概要紹介 | 事務局：足立                                                                             | 1 分  |
| 2 | 2023 年度事業報告        | 事務局：中水・山本                                                                          | 25 分 |
| 3 | リカレント教育について        | 事務局：中水<br>兵庫県総務部教育課 中澤様<br>兵庫県商工会連合会 山本主事<br>兵庫県中小企業団体中央 内田事務局長<br>兵庫県中小企業家同友会 津田様 | 10 分 |
| 5 | 閉会                 | 事務局：足立                                                                             | 2 分  |

【参加者数】 46 名（兵庫県内 42 名、県外 4 名）

主な参加機関、団体

行 政(1)：兵庫県総務部教育課(1)

産 業 界(4)：神戸商工会議所(1)、兵庫県中小企業家同友会(1)、兵庫県商工会連合会(1)、  
兵庫県中小企業団体中央会(1)

大 学(33)：加盟校 30 校 29 名、県外 4 校 4 名

そ の 他 (1)：NPO 法人 国際教養教育交流協会(1)

※ほか事務局 7 名



## 【主な意見等】

- ・山口県でも産学連携事業を広げたいと思っているため、(ひょうごコンソの)活動を参考にさせていただきたい。(山口大学)
- ・社会全体として働きながら学べる環境づくりが重要であり、兵庫県でもフォーラム等の実施による機運醸成・リカレント教育講座情報発信を行っている。来年度には長田に兵庫県立大学のブランチを設立し、データサイエンスなどの県大の強みを生かした企業人材のリカレント学習支援、中小企業・地域産業の DX 支援の実施予定。フォーラムを中心として今後もリカレントの浸透を狙う。(行政・兵庫県総務部教育課)
- ・商工会では、主に中小企業の事業所を支援しており、リカレントに限らず商工会主催のセミナーを実施しているが、現場は人手不足や日々の業務に追われているという実情があり、受講する人材の確保が難しいという声をよく聞く。学びの機会まではまだ確保できておらず、ハードルが高いことも確かだが、リカレント教育に対し、事業所等の意識が向き、浸透しつつあるという印象は受ける。今後も周知を続けていきたい。(産業界・兵庫県商工会連合会)
  - ・中小企業の現場の人間が時間を割いて受講するのはなかなか難しく、また DX の専門家として知識を学んだ場合自社にとどめおけない (IT 方面への転職) といった危惧もある。  
ただ、以前 M ラボに参加し、ゼミ単位での企業研究・課題解決策の提案をいただくことで、新しい気付きがあったことで企業から好評であった。このように外部からの視点や先生の知見と触れることで、仕事では得られない知識や経験、経営とは何かという問い直し、脳のリフレッシュなど企業にとってのメリットも大きいと考える。(産業界・兵庫県中小企業団体中央会)
  - ・(リカレント教育は)自分の仕事の範囲を、離れた位置から改めて見るということで、自社の現状を理屈を踏まえて振り返る得難い経験ができる反面、離職の危惧があるのも確か。  
フルプログラムを受講することで、次のステップを考えてしまう可能性もあるため、数回のコースでリフレッシュにとどめ、少し離れた位置から自社を見、自社の魅力に気付くようなプログラムがあればよい。また企業へのリカレント教育を浸透させるには、まず経営者自身が学ぶためのプログラムを受講したうえで、共有したい内容を、自社の従業員に向けたプログラムとして提供することで、経営者が内容を把握し、離職を防ぐこともできるのではないかと期待する。  
(産業界・兵庫県中小企業家同友会)

## 【所感】

今回の活動報告会には、行政・地域団体・産業界・内外の大学・地域の方々、合わせて 38 名の参加があった。本報告会を通して、コンソの事業活動を広い範囲に紹介し、また理解していただけたことは成果であった。

今後も引き続き、産官学連携はもちろん、地域の方々との連携を強化し、様々な意見をいただくことで、プラットフォームとしての活動の更なる強化に取り組んでいきたい。

以上